

笠松町内会アンケートの結果について

令和8年3月3日

笠松町内会長

笠松町内会の組織・運営改革について各班長を中心にアンケート結果について、下記の通り報告します。 ※別紙集計表参照

記

1. 回答世帯数は24世帯で、小さい子供さんがおられる20～30歳代の家庭、16～20歳代のこどものある50歳から60歳代家庭、70歳以上の高齢者家庭等幅広い家庭の皆様からの回答をいただきました。
2. 会員同士で交流できる活動について
現在活動中の卓球・太極拳・ミニらいとモルック・カラオケ・絵手紙・生け花・麻雀等のクラブ以外の新規要望が多いのは、①スマホ等の使い方教室、②シニア向け健康作り教室、③防災訓練・勉強会がトップ3で、他には料理を楽しむ会・むかし遊びで交流会・多世代輪投げ大会・日帰りバスツアーなどの要望があり、TOP3は新年度の活動施策として検討します。
3. 回覧板・掲示板・HP（ホームページ）以外の情報発信・共有化についてHP（ホームページ）については、見たことがない方が全体の63%と高い反面、便利性では全体の33%が回覧板に次いで評価しており、HP（ホームページ）の充実・PRを新年度の重点施策として検討します。
4. 町内会活動への参加・サポートについて
体調や家庭の事情等で、基本的に町内会活動に参加が難しい方が、全体の58%と高い反面、活動への参加が可能な方が42%おられ、町内会活動当日の準備・片付け等のサポートや自分の得意なことなら主立って活動したい方もおられたので、ご協力いただける方への呼びかけを強化していきます。
役員(会長・副会長等)ができるという方は、現状の役員以外にはありませんでしたので、新年度も従来通りの方法で新役員を選出することとします。

5. 役員の担い手不足の解消、負担軽減策について

活動の運営方法を見直す(専門部会の立ち上げ、NPOなどの協力依頼)が最も多く、活動内容の見直し(縮小、廃止を含む)・役員会議の回数を見直しが続きオンラインの活用や役員報酬の制定もあり、新年度の役員の意見を聞き改善策を進めます。

6. 町内会の脱退者・未加入者に対する加入促進策について

「未加入者でも参加可能なイベントを開催し、町内会を知ってもらおう」が最も多く回答者の60%以上の支持がありました。新年度施策として、「笠松町内会未加入者も含めて参加できるイベント」や「若い世代のニーズに合った活動(防災等)」に取り組みます。「年齢や家庭の事情を考慮し、役員を免除する協賛会員制度を設ける」ことについては継続検討することとします。

7. その他、町内会活動や運営等について下記のご意見があり、今後の施策の参考とします。

- (1)「会館に町会費を持参する日の設定」については、区長の集金方法として検討します。
- (2)「班長説明会での清掃活動・防災訓練・夜警参加の要請」は班長説明会で要請します。
- (3)「防災訓練のPRや区長・班長の横のつながり」については、令和8年11月の大防災訓練の内容を拡充し、より多くの方にご参加いただけるイベントを検討します。
- (4)「親の介護などでの会議スケジュールの見直しやネット会議の検討」については、試験的にネット会議の取り組みを検討します。
- (5)「年会費の銀行引き落とし」については、事務作業のコストなどの課題についての分析を行い、班長業務の負担感の軽減について役員会で検討します。
- (6)班ごとの各家の概況把握を取りまとめるフォーマット等について、防災委員会で検討します。

以上